

2016年度 法科大学院

特待生入学試験問題

2 時限

民法

(論文式)

試験時間 60 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の 1 ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各 1 枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

なお、現行法のもとで答えなさい。新民法（平成 27 年 3 月 31 日国会提出「民法の一部を改正する法律」）は考えなくてよい。

設問 1

即時取得の要件を挙げなさい。

設問 2

骨董品店 A を訪れた B は、掘り出し物の壺「甲」を見つけ、店員 C を相手にこれを買ったが、手持ちの金がなかったので、後で払いにくるから甲を預かっておいてくれと言いついて残して、店を出た。午前勤務の C は午後勤務の D と交替したが、何の申し送りもしなかった。午後になって、同じく A を訪れた E は、同じく甲を見つけ、店員 D を相手にこれを買ったが、同じく手持ちの金がなかったので、後で払いにくるから甲を預かっておいてくれと言いついて残して、店を出た。

(1) (2) は独立した問題であるが、両方とも解答しなさい。

(1) 2 日後、E はこの間の事情を知り、A を急いで訪れた。A の社長 F は、平謝りをして、E に甲を手渡し、E から代金を受領した。3 日後、B がこの間の事情を知り、F に文句をいったが、埒が明かなかった。そこで、B は E に対し甲の返還を求めたが、認められるか。

(2) 折しも大地震が起こり、A の店内に置いてあった甲は割れてしまった。A は B に対し、代金の支払を求めたが、認められるか。

(解答はすべて解答用紙に記入すること)